西日本最大級の展示会に市内企業と共同出展

「関西機械要素技術展」に丹波市ブースを出展しました

ねじ、ばねなどの機械要素や、金属、樹脂に関する加工技術を一堂に集めた「第15回関西機械要素技術展」が10月3日からの3日間、インテックス大阪（大阪市）で開催され、市内に製造拠点をもつ大河内金属㈱と共同でブースを出展しました。会場には、連日多くの来場者が訪れ、出展企業との間で活発な商談が行われました。

市が設置したブースでは、初めての試みとして、市内企業6社の魅力ある製品を展示するなど、他ブースとの差別化を図りました。また、市内工業団地の紹介や企業立地の優遇制度などの説明を行い、企業誘致に向けてのPRを行いました。

市のブースでは、ダンロップスポーツ（市島）、クレハ樹脂加工事業所（柏原）、大地農園（山南）、パナソニック施設照明（春日）、ミズノアパレルテクニクス（氷上）、ワタミ手づくりマーチャンダイジング（市島）の製品を展示しました

若者が抱える悩みを専門スタッフがサポート

「子ども・若者サポートセンター」を開設しました

市では、「働きたいけど一歩がふみ出せない」「人と接することに不安を感じる」など、悩みや不安を抱える若者たちの社会的自立を支援する「子ども・若者サポートセンター」を開設しました。

臨床心理士などの専門スタッフが悩みを一緒に考え、その人に合った支援を行います。

■相 談 日　毎月第2・4木曜日
　　午前11時～
　　※1日4人まで（相談時間50分）
■相談会場　氷上保健センター
■予 約 先　☎079‐565‐9300
　　（さんだ若者サポートステーション内）

※最初に「丹波市からの相談」と伝えると予約がスムーズです。

問生活安全課（氷上庁舎内）☎82‐1532

- 自然災害から「住まい」を守る -
兵庫県住宅再建共済制度

フェニックス共済

震災から学んだ「助け合いの大切さ」を自然災害への備えに生かしたフェニックス共済に、ぜひご加入ください。

＊掛け金＊　年額5,000円
（初年度は月額500円：上限5,000円）

自然災害発生！

＊保障額＊

［給付額］※住宅が半壊以上の被害を受けた場合

給付金	給付対象	給付金額
再建等給付金	再建・購入	600万円
補修給付金	全壊で補修	200万円
	大規模半壊で補修	100万円
	半壊で補修	50万円
居住確保給付金	再建・購入・補修をしない場合	10万円

※県外で「再建・購入」した場合、給付額は1/2になります。
※賃貸住宅などは、別途制約があります。

問 県民局企画防災課☎73‐3721
（財）兵庫県住宅再建共済基金☎078‐362‐9400
http://web.pref.hyogo.jp/wd34/phoenixkyosai.html

あったかい看護の心を柏原で。 HP

県立柏原看護専門学校

平成25年4月入学 **学生募集**

柏原看護専門学校では、平成25年4月入学の看護学生を募集します。卒業後は、看護師国家試験の受験資格等が得られます。

■募集学科 / 看護専門課程・看護学科（3年課程・全日制）
■募集人数 /40人
■受験資格 / ①高等学校または中等教育学校を卒業した方（3月卒業見込み含む）
②高等学校等卒業と同等以上の学力があると認められる方
■出願期間 /12月3日（月）～11日（火）
■出願方法 / 出願書類、入学考査料をご持参ください。
■入学試験 / 1月17日（木）
申問県立柏原看護専門学校
（柏原町柏原5208‐1）☎72‐0528

市長からのメッセージ

[こちら市長執務室]

井上香織選手には、記念に丹波市のマスコットキャラクター「ちーたん」のぬいぐるみとTシャツをプレゼントしました

銅メダリストのオリンピック報告会に出席しました

9月27日（木）に県立氷上高校を訪れ、ロンドンオリンピック女子バレーで銅メダルを獲得した同校卒業の井上香織選手（29）の祝福をしました。

平成23年度予算は、何よりもまず「経済対策」を進めるため、「プレミアム商品券」の発行、住宅改修等への補助制度の拡充、中小企業への事業支援の拡大など、景気回復と雇用促進を軸とした経済対策に重点をおいた予算配分を行いました。また、買い物や通院などを支えるための公共交通対策として「デマンド（予約）型乗合タクシー」の定着や、地域課題の解決に向けた活動に対する支援策として「元気な地域づくり特別事業交付金」を創設するなど、参画と協働の地域づくりに向けて取り組んでまいりました。

［テーマ］ ―平成23年度歳入歳出決算を終えて―

平成23年度は合併後7年目となり、普通交付税の逓減措置（H27～）や一本算定（H32～）が間近に迫る中、本市の将来に渡る厳しい財政状況を見据え、健全な財政基盤を確立するために、施策評価シートの活用や経常経費の削減に努めた結果、昨年度に引き続き大幅な繰上償還を行うことができ、収支面での健全性を維持することができました。

一般会計の決算状況では、歳入総額365億441万9千円、歳出総額343億9,896万1千円となり、翌年度へ繰り越すべき財源4億8,556万4千円を差し引いた実質収支は、16億1,989万4千円の黒字となっています。また、特別会計の決算状況では、農業共済特別会計と水道事業会計を除く9会計で歳入総額180億7,207万1千円、歳出総額175億2,788万9千円となり、翌年度へ繰り越すべき財源3,000万円を差し引いた実質収支は5億1,418万2千円の黒字決算となっています。

次に、財政状況を示す指標では、経常経費に充てられた経常一般財源の割合を示す経常収支比率は84.1%（前年度82.2%）となりました。また、平成17年から主要な財政指標となった実質公債比率（3カ年平均）については13.1%となり、昨年度の14.6%から1.5ポイント改善しています。さらに、財源調整のための財政調整基金残高は、66億1,296万9千円で、前年度対比5億5,932万9千円の増額となり、市債現在高は363億2,946万2千円で、繰上償還等に伴い前年度対比18億9,139万2千円の減額となっています。

これらの状況から、収支面では健全性を維持することができたと言えます。しかし、経常収支比率及び実質公債費比率などの指標の動向には注意が必要で、合併特例債等の発行額の増加が今後も見込まれる中、特別会計や公営企業会計を含めた起債発行額の抑制や繰上償還など、財政健全化に向けた更なる取組みが必要です。

私は後世の子どもたちに借金を残さないように、できるだけ健全財政を維持していくことが大切であると考えております。

最後に、去る10月10日（水）の第61回丹波市議会定例会における平成23年度一般会計及び各特別会計の決算承認の件につきまして、水道事業会計決算の認定を求めましたところ、この度の水道部職員による不正事務処理に関する事件により不認定となりました。

今後、この教訓を生かし、全職員が一丸となって職務に精励することを誓いまして平成23年度決算の報告とします。